

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

リスク・マネジメントは、企業活動、企業の不祥事・リコール、金融危機から自然災害、戦争、テロに至るまで多岐にわたる分野を対象としており、現代社会においては、家計・企業・国家などあらゆる組織形態に欠かすことのできないものとなっている。

本講義では、リスク・マネジメントの意義と役割を平易かつ具体的に理解できるよう、講師の年金基金、銀行および生命保険会社での実務経験に基づき、保険論・金融論をベースとしたリスク・マネジメントの理論的体系から、企業・金融機関・個人におけるリスク・マネジメントの手法・実務ならびに具体的事例まで、学術・実務両面の視点から幅広く講義する。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション：本講義の概要
第 2 回	リスクの概念・種類・分類
第 3 回	リスク・マネジメントの手法・プロセス
第 4 回	リスク・マネジメント手法としての保険のしくみ
第 5 回	企業のリスク・マネジメント① 全社的リスク・マネジメント（ERM）
第 6 回	企業のリスク・マネジメント② 内部統制、事業継続計画（BCP）
第 7 回	金融機関のリスク・マネジメント① 銀行のリスク・マネジメント
第 8 回	金融機関のリスク・マネジメント② 保険会社のリスク・マネジメント
第 9 回	個人のリスク・マネジメント① 公的保障・企業保障・個人保障の役割分担
第 10 回	個人のリスク・マネジメント② 生命（死亡・医療・介護等）への備え
第 11 回	個人のリスク・マネジメント③ 家財（住宅・自動車等）への備え
第 12 回	個人のリスク・マネジメント④ 老後（年金）への備え
第 13 回	資産運用・資産形成のリスク・マネジメント
第 14 回	リスク・マネジメントの歴史および具体的事例
第 15 回	本講義のまとめ：リスク・マネジメントの実生活への応用
第 16 回	期末試験

到達目標

わが国のリスク・マネジメントの基礎理論に関する知識を身に付けることは勿論だが、学生が社会人となつてから、組織人あるいは消費者としてリスクに備えるための各種制度（社会保険・生命保険・損害保険等）を利用する上で最低限必要な判断軸を習得することを目標とする。

履修上の注意

講義形式を基本とするが、学生諸君が議論に積極的に参加することを強く期待しつつ行う。なお、リスク・マネジメントの基礎理論を理解するためには、数学および数的処理の知識がある程度必要となるため、講義の中に当該要素を取り入れていく。

予習・復習

- ・予習は原則不要だが、必要があれば講義の際に指示する。
- ・復習に代えて、毎回の講義中に、出席確認を兼ねた小テスト・小レポートを実施する（10分程度）。

評価方法

期末試験 70%、授業内小テスト・小レポート 30%

テキスト

〔教科書〕

特定の教科書は使用せず、講師作成のレジュメを毎回配布する。

〔参考書〕 ※必要に応じて参照すること

下和田功編『はじめて学ぶリスクと保険（第4版）』有斐閣ブックス

李洪茂『リスク・マネジメント論』成文堂